

令和6年度 第37回

山梨県図書館大会

日時：令和6年11月29日（金） 午前10時～

会場：中央市立玉穂生涯学習館・玉穂総合会館



大会テーマ

**今、あらためて問い直す図書館と司書
～多様化する図書館の役割と、
司書に求められる資質・能力とその育成～**

社会の変化に伴い図書館に求められる役割は多様化し続けています。同時に、図書館運営の担い手である司書には、利用者のニーズにこたえ、「場としての図書館」を実現するための資質・能力が求められています。今、それらにこたえられる図書館と司書をどう育てていくかについて、考える機会とします。

主催 山梨県公共図書館協会 中央市 中央市教育委員会

後援 山梨県教育委員会 公益社団法人日本図書館協会
山梨県公民館連絡協議会 山梨県学校図書館教育研究会
山梨県高等学校教育研究会学校図書館部会

参加者 公共図書館、公民館図書室、学校図書館、大学・短期大学図書館、
文庫、教育委員会等関係者、図書館利用者、NPO、図書館ボランティア、
読書ボランティア、図書館に関心のある方

〔日程〕

9:30 10:00 10:30

12:00 13:00 13:30

15:40 15:50 16:00

受付	開会式	記念講演	昼食	受付	分科会	閉会式
----	-----	------	----	----	-----	-----

大会次第

〔開会式〕 10:00～10:30 〈会場：玉穂生涯学習館・視聴覚ホール〉

はじめのことば

主催者あいさつ

来賓祝辞

読書・図書館関係表彰伝達披露

日程説明



〔記念講演〕 10:30～12:00 〈会場：玉穂生涯学習館・視聴覚ホール〉

「どうしたら図書館に子どもは来てくれるか？」

講師 すぎやま あきら
杉山 亮 氏（児童書作家、ストーリーテラー）

【講師からのメッセージ】

司書は、図書館に来てくれた子には様々なサービスができる。では来る子よりも圧倒的に多い、図書館に来ない子に対してどんなサービスができるのか？そこを考えるのが公共図書館の司書の重要な仕事のはずです。事例を出しながら、一緒に考えたいと思います。



＜講師プロフィール＞

山梨県の八ヶ岳のふもとの町・小淵沢に在住。児童書作家。主な著書に「名探偵ミルキー」シリーズ(偕成社)「青空晴之助」シリーズ「児童書作家の思いつき」(仮説社)「子どものことを子どもにきく」「子どもをおいて旅にでた」(ちくま文庫)など。またストーリーテラーとして全国の図書館・小学校でものがたりライブをおこなっている。

お願い（記念講演） 録画・録音・撮影はお断りさせていただきます。

〔分科会〕 13:30～15:40

第1分科会

〈会場：玉穂生涯学習館・視聴覚ホール〉

「デジタル時代の学校図書館と公共図書館」

講師 鎌田 和宏 氏（帝京大学教育学部教授）

学校はGIGAスクール構想の推進により、一気にDXが加速した。コロナ禍も経た今GIGAスクール構想も第2期に入ろうとしているが、学校教育のDXについては地域差、学校差が大きい。学校図書館の利活用においても、DXの影響は大きく、新たな課題も生まれてきている。学校図書館と公共図書館の連携の形についても、新たな可能性を考える機会とする。



第2分科会

〈会場：玉穂総合会館・多目的ホール（2階）〉

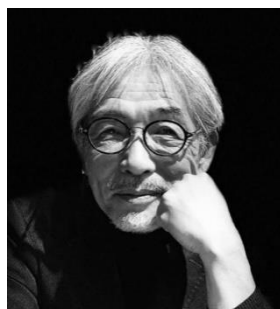


「多様化する時代に司書をどう育てるか」

講師 日向 良和 氏（都留文科大学学長補佐・教授）

講師 平賀 研也 氏

（元伊那市立伊那図書館館長・前県立長野図書館館長）



多様化する時代に、司書に求められる資質、司書が身につけるべき能力とは何か。実際に人材育成に関わるお二方に、司書課程の現状と今後の展望、そして公共図書館の司書のスキルアップや図書館マネジメントについてもお話を伺い、参加の皆さんとも意見を交換して、今後の司書の姿を考えたい。

昼食は玉穂総合会館内でおとりいただけます。

玉穂総合会館内には土足禁止箇所があります。なるべくスリッパ等をご持参ください。

〔閉会式〕 15:50～16:00 〈会場：各分科会会場〉

